

未病と CS9 マウスピースのエビデンス

田中 俊樹

医療法人聖徳会 田中歯科クリニック

本医院では、『咬み合わせ問診表』に術前と術後の健康状態を数値化し（表一1；QR）『オーラル未病改善対策』の1つである『CSO マウスピース』を装着した後の状態を評価し、良好なエビデンスを得ています（図一1）。

神奈川県は、2012年に「かながわ未来改憲宣言」を発表しました。

日本医療は、2011年に「がんがん不眠改善宣言」を発表しました。健康と寝気の間の状態を言い表す中医医学用語です。

『未病』とは、全ての年代の人の健康と病気の間の状態を言い表す平易な用語です。いわゆる、前疾患状態; (Pre-Disease) の事です。同義語として近年良く聞かれる医科用語として用いられている『フレイル』(虚弱) は、加齢に伴う肉体の機能低下と認知力の低下による自立的社會参加への支障を来たすことです。これは、『未病』の一端の高齢者が対象です。

今回、年齢に関係なく引き起こされる『口腔疾患の未病』の状態を『オーラル未病』と定義し、口腔機能を構成する器官を『歯牙』、『歯肉』、『関節』、『筋肉』、『神経』、『咬合』の6つに分け、それぞれの疾患の進行状態を明確にし、口腔における『未病』の状態を解りやすく「オーラル未病指標」として表しました。(表-2)

また、2016、17年の厚生労働省歯科疾患実態調査によると「口腔機能不調者」は、41%であり、日本の人口比率に換算すると約5,000万人になるにもかかわらず、実際の歯科の大疾患の「歯周病」と「う蝕」の受診者総数は、589万人であったとしています。

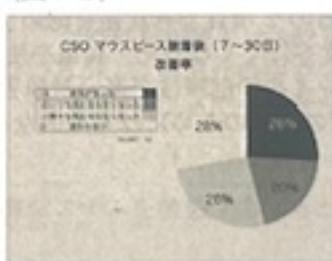
更に、題問筋にクリック音や痛みの不適感を訴える人が約15%（推定1,500万人）

も存在<sup>しゆざい</sup>して、高齢者<sup>こうりょうしゃ</sup>の約4分の1の人が、「よく寝<sup>ね</sup>て居<sup>ゐ</sup>る」という事が判明<sup>はんめい</sup>しました。

このようなことから、『未病』の大多数は、『オーラル未病』の状態であり、定期的な歯科検診による『オーラル未病』の早期発見、早期改善が、(表-3)『オーラルフレイル』に至る前処置として必要であり、全身の健康寿命延伸に有效である事を示唆しています。

(表-1)

(图-1)



(表-2)

オーラル疾患 指標	
指標 名前 (ID)	オーラル疾患 指標の 説明
ODP_01_Caries	虫歎
ODP_02_Toothache	歯痛
ODP_03_DentalVisit	歯科受診
ODP_04_DentalTreatment	歯科治療
ODP_05_DentalExamination	歯科検査
ODP_06_DentalConsultation	歯科相談

(表-3) オーラル疼痛 改善傾向

定期的「オーラルホスピタル」➡ 是野賢



口腔構成要素	模式	半側		早期生育期 (5歳)
		0	1	
歯牙	[C] Canines	無	有	第一大臼歛 第二小臼歛
歯肉	[P] Periodontium	無	有	歯肉
周囲	[J] Joint	無	有	耳
筋肉	[M] Muscle	無	有	舌
神経	[N] Nervous	無	有	頭部神經
その他	[O] Occlusion	無	有	CSDカラスピース